

# 福島市 農政だより

編集・発行  
福島市五老内町3番1号  
福島市農政部農業企画課  
発行責任者  
農政部長 清野 良彦

## 令和4年度 福島市農業賞 受賞者が決定

令和4年度の福島市農業賞の受賞者が決まりました。農業賞（園芸部門）に橋本淳一、美恵子夫妻、農業奨励賞（次世代農業者部門）に遠藤有羽樹、紗智夫妻、農業奨励賞（地域活性化部門）に株式会社カトウファームが選ばれました。農産物生産の技術、ブランド力の向上に努力を重ねてきた方々を紹介します。

技術向上、創意工夫に栄誉



橋本淳一、美恵子夫妻

農業賞（園芸部門）

### 地域農業で中心的役割

果樹（モモ、リンゴ、ブドウ）を中心に農業に従事し、優良品種・系統を早期に導入するなど、地域農業で中心的役割を担っています。

認定農業者として農地の利用集積等に積極的に取り組み、地域農業者からの信頼も厚く、地域は勿論、福島市の果樹分野を牽引するリーダーとして活躍しています。JAふくしま未来福島地区もも専門部会の部長も経験し、栽培技術の指導や、県や市の販売PR活動にも大きく寄与されています。



農業奨励賞

（次世代農業者部門）

遠藤有羽樹、紗智夫妻  
野菜栽培施設化進める



平成27年に就農。当初は露地きゅうりからスタートし、天候等の外的要因による減収を防ぐため施設化を進め、後作にはかぶれ菜等の葉物野菜を直売所等に出荷し、秋冬の収益確保にも努めています。さらに耕作園地の周辺に遊休農地を借り入れする等、規模拡大を進めながら遊休農地の解消にも一翼を担い、地域貢献に尽力しています。



農業奨励賞

（地域活性化部門）

（株）カトウファーム  
クラフトビールで  
福島を発信



世界基準の農業認証「グローバルGAP」を取得するなど、食品の安全確保等に力を入れています。令和2年には自家栽培した大麦やホップを原料に使ったクラフトビールの醸造所「Yellow Beer Works（イエロービアワークス）」（大笹生）を開業。令和4年8月には直営店となるビアスタンドを市内大町に開店し、自家製米のおにぎりランチを提供して中心市街地の活性化にも貢献しています。今後は新工場を設立し生産量を増やす予定で、向上心にあふれています。

## 高騰する燃油代を支援します！

～農業用燃油高騰対策支援事業～

福島市では、特に燃料費高騰による影響が大きい農業者の経営を支援するため、購入する燃油の量に応じた支援を実施しています。

- 対象者：農業用のA重油2,300ℓ以上 又は 灯油2,500ℓ以上を購入する農業者（申請時点で上記の量を購入している方が対象です）
- 内容：令和4年4月から令和5年3月までの燃油購入量に応じた支援期間内に複数回申請可能です。要件を満たし次第ご検討ください。
- 支援額：（ $\frac{\text{（平年価格からの高騰分）} \times \text{購入数量} - 50,000\text{円}}{3}$ ）  
※令和5事業年度 施設園芸等燃料価格高騰対策に加入した場合、補助率を「1/2」に引き上げ、差額を追加交付します。
- 申請期間：令和5年4月17日(月)まで

平年価格からの高騰分

(単位：円)

油種	高騰分
A重油	21.84
灯油	20.56

〈問合せ先〉

農業振興課 生産振興係

電話(525)7720

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ふくしまから旬き込め7-

### ふるさとアグリBOXで実証実験

一度に多くの品目を楽しめるくだもの等の詰め合わせ（アソート）による販売を促進するため、「ふるさとアグリBOX」と、規格外となってしまった農作物の販売を促進する「アウトレットアグリBOX」を作製し、ブランド化に向けたプロモーションと、販売効果などについて実証実験を行います。

実証実験の結果を基に、今後、多くの生産者さんに使っていただける仕組みづくりを進めます。

〈問合せ先〉 農業振興課

販売促進係 電話(529)7663

～なんでもご相談ください～  
**GAPコンサルティング始めました!**

福島市では、JGAP指導員の資格を取得した職員が、GAPの取り組みを進めたい生産者のもとに伺い、一人ひとりの状況に応じたGAPの実践についてアドバイスを行うなど、マンツーマンにてサポートします!

GAPに取り組みたい方や第三者認証GAPを取得したいと考えている方は、お気軽にご相談ください!

○具体的な支援内容(例)

☑GAPの概要、取り組み内容の説明

⇒GAP認証の管理点・適合基準と現在の取り組み状況を比較し、課題を確認します。

☑帳票・記録の作成

⇒認証に必要な帳票等の作成をサポートします。

☑現場の整備

⇒作業場や道具、薬剤の管理などについて改善方法を提案します。

○1回の相談に要する時間の目安: 2～3時間程度となります。

〈問合せ先〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720



**道の駅ふくしまで6次化商品の  
テストマーケティングを  
してみませんか?**

市産農産物を使ったこだわりの6次化商品を、道の駅ふくしまの来場者に試食していただき、お客様の生の声を商品の改良に役立て、より良い商品にしませんか。

- 1 募集期間 令和5年1月中旬～令和5年5月末の期間のうち1回につき1～2日間(申し込み後に道の駅ふくしまと調整)
- 2 場 所 道の駅ふくしま店内
- 3 要 件
  - ・商品は市産農産物を使用した6次化商品で道の駅ふくしまで販売していないものであること
  - ・自分で試食を提供できること
- 4 料 金 無料
- 5 申込み QRコードを読み取り、福島市ホームページ内の申込フォームより申し込むか申込書に記入の上ファクスで申し込みください。



**6次化セミナー「ECサイト開設前に  
知っておくこと」&交流会を開催します**

生産された農畜産物や6次化商品の販売手法の1つとして、コロナ禍で成長しているEC市場(ネット販売)の基本を押さえ、自分に合った販売方法を見つけましょう。

また、交流会では6次化に取り組む皆さんに商品を持ち寄っていただき、商品パッケージのアドバイスを受けながら農業者同士や他産業者と交流を深めます。

興味がある方はぜひご参加ください!

- 1 日 時 令和5年2月17日(金) 14時00分～16時00分
- 2 場 所 福島市市民会館 3階 301号室
- 3 講 師 ふくしま地域産業6次化イノベーター 松尾 高広氏
- 4 対 象 農業者、6次化に取り組む事業者、他産業者(先着30名)
- 5 料 金 無料
- 6 申込み 令和5年2月3日(金)までに、QRコードを読み取り、福島市ホームページ内の申込フォームより申し込むか申込書にご記入のうえファクスで申し込みください。
- 7 その他 新型コロナウイルスの感染状況により内容変更・中止となる場合もあります。



〈問合せ先〉 農業振興課 販売促進係  
電話(529)7663 FAX(533)2725

**安全安心な農産物の生産出荷に向けて  
農薬は適正に使用しましょう!**

今年度に入ってから、県内では農薬の使用回数や希釈濃度が守られなかった事例や、隣接するほ場に農薬が飛散する事例が確認されています。

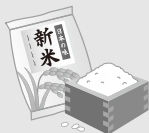
農産物の農薬残留基準値超過の防止など、安全安心な農産物の出荷に向けて、次の5点に注意した適正な農薬使用を徹底願います。

- (1) 農薬を使用する際は、商品ラベルの内容を厳守して使用しましょう。
- (2) 農薬散布作業前後には、器具の洗浄を徹底しましょう。
- (3) 生産履歴には、農薬の使用状況を記録しましょう。
- (4) 農薬の飛散防止対策に努めましょう。
- (5) 周辺環境に配慮した農薬の使用を心がけましょう。

〈問合せ先〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720

**令和4年産米のモニタリング  
(抽出検査)の結果について**

令和4年産米を対象に福島県が実施したモニタリング(抽出検査)について、福島市内では検査を行った旧市町村30区域、90地点全てで測定下限値(10Bq/kg)未満でした。



● 検査方法

旧市町村単位31区域中30区域(作付のなかった土湯村を除く)でそれぞれ3点、計90地点の玄米を採取

● 検査結果公表時期(出荷等自粛解除時期)

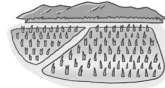
令和4年10月3日～10月13日

検体の提供や、結果公表まで出荷等の自粛にご協力いただきました生産者の皆さまにお礼申し上げます。なお、福島市の米の安全・安心の確保のため、出荷の際は、米袋の中に異物(砂やほこり)が混入しないようご注意ください。ご協力をお願いします。

〈問合せ先〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720

**震災後新たに水稲・大豆を作付する  
ほ場へのカリ質肥料散布について**

「震災後作付していないほ場」で令和5年から作付を再開するほ場は、土壌中のカリ含有量が低い恐れがあるため、放射性物質の吸収抑制対策としてカリ質肥料の散布が必要となる場合があります。



震災後新たに水稲・大豆を作付するほ場がある方は、次のとおり手続きをお願いします。

なお、市内全域へのカリ質肥料の配付は終了しています。今後も稲わらのすき込みなど栽培基準等に沿った適切な施肥管理をお願いします。

○水稲について

2月に「震災後新たに作付するほ場」の作付意向調査の通知を、水稲作付者等にお送りしますので、該当する方は提出してください。通知が届かない場合は、問合せ先までご連絡ください。

○大豆について

「震災後新たに作付するほ場」がある方については、3月未までに問合せ先までご連絡ください。

〈問合せ先〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720

## 水路に雪を 捨てないでください



側溝や水路に捨てられた雪は水路が詰まる原因になります。冬季は雪が溶けずに下流で詰まり、水路から水があふれ、周辺住宅に被害を及ぼす場合がありますので、水路には雪を捨てないでください。

〈問合せ先〉 農林整備課 管理係 電話(525)3728

## 県内で発生した鳥インフルエンザについて

国内各地で鳥インフルエンザの感染が確認されています。11月には伊達市、12月には飯舘村と家きんの感染が続き、防疫措置として殺処分や消毒作業等が行われました。市では、屋外スピーカー等による注意喚起や野鳥の監視を行うとともに、市内養鶏場へは消石灰を配布し、消毒を呼びかけるなど、感染拡大防止に向けた取り組みを行いました。

鳥インフルエンザは特別な場合を除き人には感染しないとされていますが、野鳥に近づかないなど感染拡大防止にご協力をお願いします。

また、鶏肉や鶏卵を食べることで人に感染した事例はありません。冷静な対応をお願いします。



### 【死亡野鳥の通報】

市公式LINEによる「市民通報システム」から鳥インフルエンザの疑いのある死亡野鳥の通報ができます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



〈問合せ先〉 市…農業企画課 農業被害対策係 電話(525)3727

## 田んぼダムで排水路の水位上昇を防ぐ

福島市では、令和4年度から田んぼダムの効果を検証しています。

今年度は、比較的小規模の取り組みでしたが、排水路の水位上昇を抑える効果を確認することができました。また、田んぼに雨水を貯めても、稲の生育への影響がないことを確認することができました。

様々な天候に応じた田んぼダムの有効性を確認できるよう、引き続き効果検証を実施していきます。

団体等を対象とした説明会を実施しておりますので、田んぼダムに取り組んでみたい方や興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



〈問合せ先〉 農林整備課 農業施設係  
電話(525)3728

90%以上の  
マッチング!

## 「デイワーク」使ってみませんか

事業の進捗を紹介します

1日農業バイトアプリ「デイワーク」をご存じですか？ 福島市職員の副業制度「カジワーク」でも活用しているアプリで、昨年7～9月のマッチング率は90%を超えています。9月は求人数115に対して約2倍の214人が応募するなど、多くの求職者が活用しています。令和4年度は無料で利用できますので、ぜひご活用ください。

「利用方法が分からない」、「スマホの操作が苦手」という方には、農業企画課農政企画係の職員が電話や窓口で利用方法をお伝えしますので、ご相談ください。

iPhone/iPad



Android



〈問合せ先〉 農業企画課 農政企画係  
電話(525)3726



福島大学公式マスコット  
キャラクター めばえちゃん

## こんにちは、福島大学食農学類です

### 第10回『研究紹介と今後の抱負 ～環境保全型農業と大学院アグロエコロジープログラム～』

食農学類の農業生産学コースで「環境保全型農業」を担当している渡邊です。昨今の気候変動や、食の安全安心への関心、環境保全型農業の重要性が高まっています。環境保全型農業とは、農地やその周りの環境に負荷が少なく、持続的・効率的に農業生産を続ける方法だと考えています。当研究室では、水田や畑の有機栽培や不耕起・草生栽培の農地環境や抑草技術の研究に取り組んでいます。

2023年度から、食農科学研究科という大学院修士課程が発足し、日本で初めてのアグロエコロジープログラムを始めます。このプログラムでは「アグロエコロジー」の世界的な発展の歴史を踏まえ、現代の農業を生態学の視点から再検討し、日本に適した環境保全型農業として位置づけます。生態系の機能を維持しつつ生態系サービスを活用することで持続可能で環境負荷を最低限にする生産システムや、農業者から消費者までの公正な分配と対等の関係性を構築する方法について研究と教育を行います。学部からの進学だけでなく、農業者も含めて広く社会人の方の進学も受け入れています。



▲ほ場で調査やサンプリングを行い、研究室で分析やデータの解析をします。土壌水分計を設置しているところです。

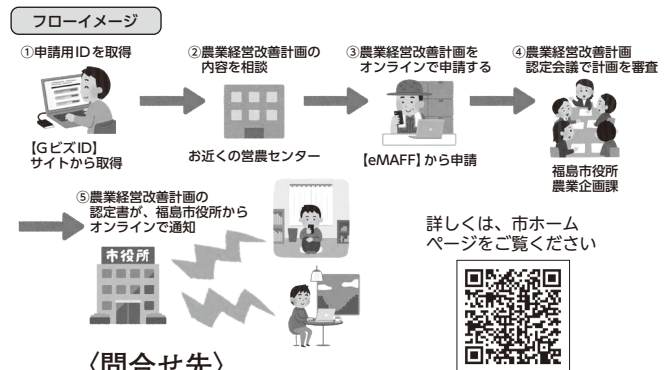


食農学類  
渡邊 芳倫 准教授

# 認定農業者制度で オンライン申請が可能に!!

令和5年1月から、農林水産省共通申請サービス（通称：eMAFF）による農業経営改善計画（認定農業者制度）のオンライン申請が可能になります。パソコンやスマートフォンをお持ちの方は、申請ID（GビズIDプライム）を取得の上、オンライン申請をお試しください。

- Point 1** 自宅のPCから申請可能に  
役所の開庁時間に縛られることなく自宅のパソコンから申請できます。
- Point 2** 紙の管理が不要  
申請書類の紙での管理が不要です。過去の申請情報も利用できるため、申請様式を記入する手間が省けます。
- Point 3** 審査状況確認も簡単  
自分が行った申請の審査状況をリアルタイムで把握する事が出来ます。



〈問合せ先〉 農業企画課 農業担い手係 電話(525)3740

## 「農業委員」、 「農地利用最適化推進委員」 を募集します

農地などの権利移動の許可や、農地等利用の最適化の推進を行う委員を募集します。

地区説明会開催：2月上旬  
※詳しくは市ホームページ等をご覧ください。  
任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日  
身分：市の非常勤特別職  
報酬：月額48,300円（両委員共通）  
募集定員：農業委員/24人  
農地利用最適化推進委員/36人

申込方法：2月10日～3月9日（必着）に福島市オンライン申請か、農業委員会事務局または農業企画課に備え付けの申込用紙（市ホームページでも取得可）に必要事項を明記の上、持参又は郵送でお申し込みください。

〈問合せ先〉 農業委員会事務局 庶務係 電話(525)3779  
農業企画課 農政企画係 電話(525)3726

## ～公設地方卸売市場からのお知らせ～

### 出荷者の皆さんへ

福島市公設地方卸売市場の1月から4月までの休場日は次のとおりです。日曜日は3部とも休場日ですので、ご注意ください。

部 類	休場日
青果部	毎週水曜日、1月9日(月)、2月11日(土)、2月23日(水)、3月21日(火)、4月29日(土) ※ただし1月11日(水)、2月22日(水)、3月22日(水)は開場日
水産物部	毎週水曜日、1月9日(月)、2月11日(土)、2月23日(水)、3月21日(火)、4月29日(土) ※ただし1月11日(水)、2月8日(水)、2月22日(水)、3月22日(水)、4月26日(水)は開場日
花き部	毎週木曜日、1月7日(土)、1月14日(土)、1月28日(土)、2月11日(土)、2月18日(土) ※ただし1月4日(水)は開場日

〈問合せ先〉 市場管理課 電話(553)1213

## ～農業委員会からのお知らせ～



積み立てしながら節税にもなる!

## 農業者年金に 加入しましょう



農業者年金とは…

- 年間60日以上農業に従事している国民年金第1号被保険者（国民年金の保険料納付免除者を除く）なら誰でも加入できます
- 積立方式（確定拠出型）の終身年金です
- 保険料は2万円～6万7千円まで自由に決められます  
※35歳未満で要件を満たす方は1万円から加入可能
- 支払った保険料は全額社会保険料控除対象
- 一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助もあります

まずは自分に合った保険料で  
年金額を試算してみませんか？

農業者年金シミュレーター



〈問合せ先〉 農業委員会事務局 電話(525)3779

## 安心して農地の貸し借りができます

農業経営基盤強化促進法に基づき、農地を貸し借りする方法があります。この方法を利用すれば、契約期間満了後は確実に農地が返還されます。ぜひ、この機会に農地の有効利用をご検討ください。なお、申し出の手続きは年に3回行っております。また、農地中間管理機構が仲介し、効率的に担い手に農地を集積する方法もあります。詳しくは農業委員会事務局、地元農業委員または農地利用最適化推進委員までお問合わせください。

申出締切日	公告年月日
令和5年1月20日(金)	令和5年3月31日(金)
令和5年5月22日(月)	令和5年7月31日(月)
令和5年8月21日(月)	令和5年10月31日(火)

## ！忘れずに！

### 農地の生前一括贈与特例に かかる贈与税などの 納税猶予の申告・届出について

贈与者又は受贈者が死亡した場合は贈与税免除届を、納税猶予の3年ごとの更新に該当する方は継続届を福島税務署及び福島県北地方振興局に提出することになります。

継続届に該当する方は、福島税務署及び福島県北地方振興局からの通知を持参して、2月末までに農業委員会事務局で、引き続き農業経営を行っている等の証明書に農業委員会会長の証明を受けてください。

過去の「農政だより」について、2018年度発行分から、福島市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

〈問合せ先〉 農業企画課 農政企画係 電話(525)3726



「農政だより」は市HPでも  
ご覧いただけます